

株主通信

〈第55期〉

平成21年7月1日から
平成22年6月30日まで

 株式会社 **武井工業所**

本社 〒315-0018
茨城県石岡市若松一丁目3番26号
電話 0299-24-5200(代表)
<http://www.takei21.co.jp/>



人と自然に調和する環境を創造する

 株式会社 **武井工業所**

株主の皆様へ

To our shareholders



株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当社第55期（平成21年7月1日から平成22年6月30日まで）が終了いたしましたので、ここに事業の概況と決算の状況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、何卒今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年9月

代表取締役社長 武井 厚

事業の概況

Business review

当事業年度におけるわが国経済は、一昨年秋の世界的な金融危機に端を発して大幅に悪化した金融と経済が最悪の事態を脱し、いくぶん落ち着きを取り戻しつつあります。しかしながら雇用情勢や所得環境の低迷等、先行き不透明な状況が続いております。

当社の属する建設業界におきましては、公共事業の

縮減と受注競争による低価格入札が依然として継続しております。また、建築工事では景気刺激策の効果が一部で見受けられるものの、個人消費の低迷は続き、民間建設投資は依然として低調な状況であることから、非常に厳しい事業環境にあります。

このような状況下、当社は販売面においては高速道路や空港アクセス道路などの近隣の大型プロジェクト関連工事への資材納入がピークを迎えたことや、新たに受注した受託製造品の生産及び出荷に精力的に取り組んだこと、さらに親密な取引先や同業他社との営業連携により販売量を確保してまいりました。また、利益面においては各工場において、生産効率改善に向けた取組みの実施や、使用材料の見直しなどによる原価低減を強力に推進し、引き続き販売費及び一般管理費においても聖域なき圧縮を図るなどコストダウンに努めてまいりました。

その結果、当事業年度の業績は、売上高は48億1千1百万円（前期比2.5%減）、営業利益は2億8千9百万円（前期比125.0%増）、経常利益は2億2千6百万円（前期比466.3%増）、当期純利益は1億9千9百万円（前期比458.2%増）となりました。

当社では、収益力やキャッシュ・フローの改善を主眼において当事業年度を最終年度とする3ヶ年の第一次中期経営計画を実施してまいりました。収益力については当初計画した内容に遜色のない状態にまで回復し、期間中に9億円の有利子負債の削減を図ることができました。

来期以降厳しい経営環境であることには変わりはありませんが、新たな第二次中期経営計画では、当社の持続的な成長に向けて組織・人材などソフト面の充実を図ってまいります。

株主様におかれましては、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

茨城空港関連

茨城空港は、旧海軍「百里ヶ原海軍飛行場」跡地に、航空自衛隊百里基地として1966年（昭和41年）に設置された航空自衛隊の現滑走路の西側に新滑走路を増設し、自衛隊との民間共用飛行場として本年3月11日に開港しました。開港当初は、アジアナ航空のソウル・仁川国際空港間の一路線だけでしたが、4月にはスカイマークの神戸線・7月には春秋航空の上海線（チャーター便）が運航されるなど徐々に路線が増加しています。さらに来年3月までには、中部国際空港や新千歳空港への路線の就航が予定されています。

当社では、空港本体等の工事やアクセス道路となる東関東自動車道水戸線茨城町JCT-空港北IC間や常磐自動車道岩間IC-茨城空港間の県道に代表される空港アクセス道路等の空港関連工事に対して、当社製品が数多く採用されました。ここにその代表となる製品をご紹介します。

フリードレンスリットグレーチング



第54期中間株主通信で、工事中の茨城空港の製品をご紹介しましたが、今回は、工事完成後の製品をご紹介致します。

ターミナルビル前の第一及び第二駐車場にはフリードレンスリットグレーチングが採用されました。フリードレンスリットグレーチングは、従来のフリードレン表面の集水機能を高めるため全長にわたりグレーチングと呼ばれる金属製の格子が一体成形された製品で、駐車場全体に施工されています。

フリードレン都市型



空港駐車場周辺の駐車場周りに、フリードレンの都市型が採用されました。歩道と車道の段差を極力抑えたため車道から歩道への出入りも容易な一方、歩道内には車の飛び込みを防止する車止めを配置する等の安全対策がされています。また、降雨時による駐車場内の排水効率を高めるため上部に排水スリットを配置、高い排水性能を確保し、空港利用者の安全と快適さを提供しています。

PUL



このPUL（ピーユーエル）は、旧日本道路公団規格として製品化され、現在は高速道路会社（NEXCO）各社で使用されています。この製品は、車道脇に布設され、雨水排水を迅速に行う施設で走行時の車両の安全を確保するためのものです。

今回、茨城空港のアクセス道路となる東関東自動車道水戸線茨城町JCT-空港北IC間では当社のPULが12km（6,000本）にわたって施工されました。

観光地へのアクセス道路整備

竜神大吊橋まで約4kmの道路に「ロードエル」施工

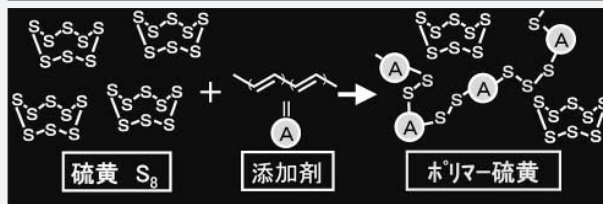


茨城県北部の豊かな木々に囲まれた山間に、長さが本州一となる竜神大吊橋があります。水戸方面からこの吊橋に向かう途中の道、吊橋まで約4kmほど手前の場所（常陸太田市天下野町県道33号線沿）に当社の擁壁型張出歩道「ロードエル」が採用されました。

この製品は土留めとなる擁壁と歩道板を組み合わせたユニークな形状をしており、限られた用地を有効に活用しながら現場での大がかりな作業を必要とせず容易に歩道のスペースを構築することができます。

今回の場所では、真新しい歩道の柵から身を乗り出し川を見下ろすと清んだ水の中に魚の泳ぐ姿を見る事ができました。奥久慈県立自然公園に観光の際は、美しい自然を楽しまれると共に「ロードエル」も見つけていただければと思います。

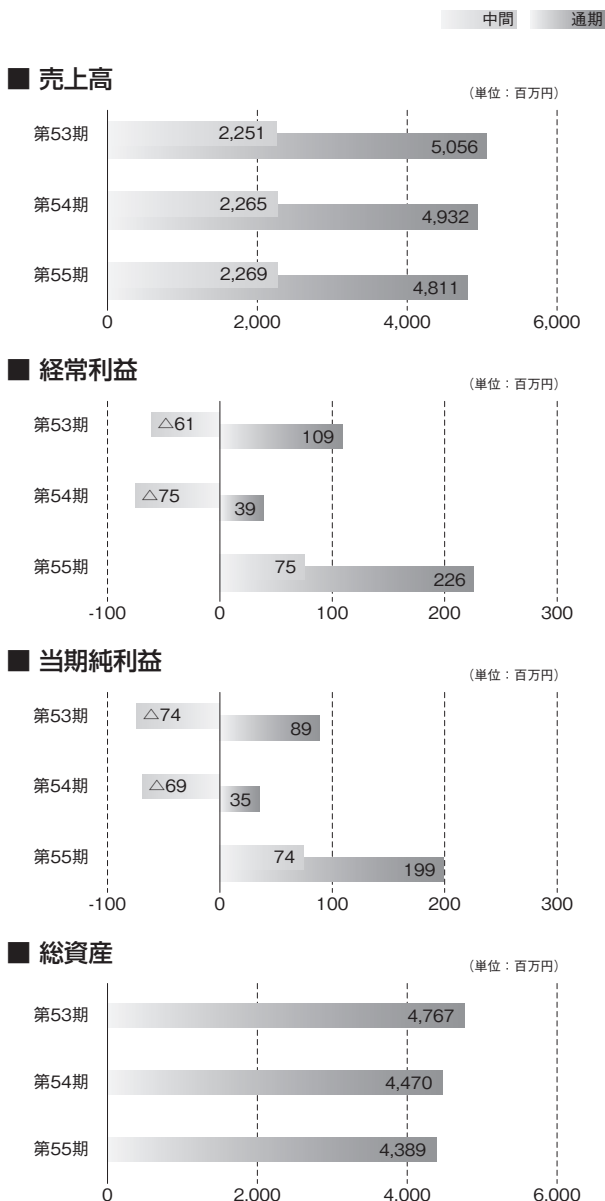
全く新しいコンクリートの誕生



私たちの生活に無くてはならない下水道施設ですが、その内部では汚泥から発生したガスによって下水道施設であるマンホールや管などのコンクリートがむしばまれるという現象がおきています。この状況に着目し開発されたのが中性・高耐酸性・高密度・超早強性・低粗度といった特徴を持つ、硫黄を原料とした新素材〈サルファーコンクリート〉です。新日本石油㈱（現：JX日鉱日石エネルギー）が開発したポリマー硫黄と骨材を140度前後の高温で熱し製造する、セメントや水を使用しない全く新しいコンクリートです。

現在この素材を採用しているのは下水道用製品のレコサルVシリーズのみですが、数多くの優れた特徴を活かし化学薬品工場や海洋施設また温泉地等への応用が期待されます。

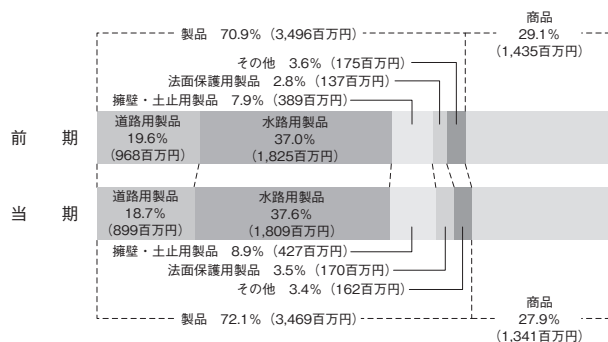
（注：ポリマー硫黄… 硫黄に添加剤を加え難燃性・耐酸化細菌性を向上させたもの）



部門別の状況

当期における自社製品の売上は、若干の減少はしたものの、ほぼ横ばいの状況です。道路用製品は、公共事業等の減少に伴い、対前期比69百万円の売上減となりました。擁壁・土止用製品においては、リーマンショックからの回復基調にあり、小・中規模の民間宅地造成工事の発注増により38百万円の売上増となりました。法面保護用製品は、東関東自動車道水戸線の大型張りブロックの増加もあり、33百万円の売上増になりました。水路用製品はほぼ横ばいですが、商品売上は94百万円の売上減で、売上全体で、前期より121百万円の売上減となりました。

次期につきましても、大手ゼネコンや大手道路会社の行う民間開発や工場建設等の工事に営業を傾注し、また、公共事業を中心とする地場建設業者においても、密な営業活動を展開し、積極的に受注確保に努めてまいります。



第二次中期経営計画（第56期～第58期）

1. はじめに

第一次中期経営計画（第53期～第55期）では、収益力やキャッシュ・フロー改善を主眼に置いた事業構造改善計画として、人員削減・与信管理の徹底・戦略製品への経営資源の集中などの諸政策を実施してまいりました。厳しい経営環境ではありましたが、収益力については、当初計画した内容と遜色のない状態にまで回復し、期間中において9億円の有利子負債の削減を図ってまいりました。

第56期をスタートとする3ヶ年の第二次中期経営計画では、有利子負債の削減等のバランスシート改善に主眼を置きつつ、当社の持続的な成長に向けて組織・人材などソフト面の充実を図ってまいります。

2. 第二次中期経営計画の概要

基本方針：会社全体の業務品質向上

貸借対照表

(平成22年6月30日現在)

Balance sheets

(単位：千円)

- 基本方針の実現に向けた以下の具体的テーマの実行
 ①5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）の推進と
 MMD（見て見ぬ振り・黙認・妥協）の排除
 ②社内コミュニケーションの活発化
 ③プレキャストコンクリート製品を知る

3. 目標数値

(単位：百万円)

事業年度	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第56期	4,600	233	167	160
第57期	4,850	245	189	184
第58期	5,000	293	247	242

株式の状況

株主還元について

(1) 配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題として位置づけております。

第55期も前期に引き続き原材料の高騰や公共事業の縮減等厳しい状況が続きましたが、普通配当の2円に記念配当50銭を加えた合計2円50銭の配当を確保することができました。

第56期は、引き続き利益の確保を実現し、普通配当2円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(2) 株価

直近の株価の推移は下記の通りです。

(単位：円)

年 月	H22.1	H22.2	H22.3	H22.4	H22.5	H22.6	H22.7	H22.8
株価 最高	135	135	135	135	135	135	—	135
最低	135	135	135	135	135	134	—	135
出来高	1,000株	2,000株	3,000株	2,000株	2,000株	4,000株	—	1,000株

※株価の確認については弊社ホームページ <http://www.takei21.co.jp/>

または、ディー・ブレイン証券株式会社が公表するグリーンシート情報サイトのマーケットボード

<http://greensheet.d-brain.co.jp/index.php?module=Market&action=MarketTop>をご参照下さい。

お取扱について

売買取扱証券会社 ディー・ブレイン証券株式会社

(日興コーディアル証券株式会社及び水戸証券株式会社ではご所有の株式の売り注文の取次ぎのみ行っております)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	1,817,859	流動負債	2,458,533
現金預金	138,600	買掛金	211,751
受取手形	350,402	短期借入金	1,470,000
売掛金	593,857	1年以内に返済予定の長期借入金	514,488
商品及び製品	649,913	リース債務	16,020
原材料及び貯蔵品	90,232	未払金	196,321
前払費用	17,665	未払法人税等	5,220
その他流動資産	4,952	未払消費税等	9,373
貸倒引当金	△27,765	預り金	10,411
固定資産	2,571,650	賞与引当金	20,265
有形固定資産	2,453,547	その他流動負債	4,679
建物	383,587	固定負債	792,918
構築物	175,412	長期借入金	636,804
機械及び装置	132,198	退職給付引当金	110,259
車輛運搬具	448	リース債務	45,854
工具器具備品	82,574	負債合計	3,251,451
土地	1,621,368	純資産の部	
リース資産	57,957	株主資本	1,139,002
無形固定資産	4,572	資本金	522,323
電話加入権	4,572	資本剰余金	389,632
投資その他の資産	113,530	資本準備金	389,632
投資有価証券	11,823	利益剰余金	228,159
関連会社株式	10,250	その他利益剰余金	228,159
出資金	12,160	繰越利益剰余金	228,159
破産更生債権等	189,978	自己株式	△1,112
長期前払費用	2,332	評価・換算差額等	△944
長期性預金	48,008	その他有価証券評価差額金	△944
会員権	71,344	純資産合計	1,138,058
その他投資その他の資産	15,616	負債・純資産合計	4,389,509
貸倒引当金	△247,982		
資産合計	4,389,509		

(注) 1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額 4,673,341千円

3. 担保に供している資産 1,843,765千円

4. 受取手形裏書譲渡高 414,684千円

5. 受取手形割引高 108,358千円

損益計算書

(平成21年7月1日から平成22年6月30日まで)

Statements of income

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	4,811,328
売上原価	3,422,935
売上総利益	1,388,392
販売費及び一般管理費	1,098,849
営業利益	289,543
営業外収益	21,955
受取利息及び配当金	334
その他営業外収益	21,621
営業外費用	85,353
支払利息	82,058
その他営業外費用	3,295
経常利益	226,145
特別利益	3,822
固定資産売却益	137
投資有価証券割当益	3,684
特別損失	28,484
固定資産除却損	2,871
会員権評価損	100
減損損失	25,512
税引前当期純利益	201,482
法人税、住民税及び事業税	1,988
当期純利益	199,493

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(平成21年7月1日から平成22年6月30日まで)

Statements of changes in net asset

(単位：千円)

	株主資本						株主資本 合計	
	資本金	利益剰余金			自己株式			
		資本 準備金	利益 準備金	その他利益剰余金 別途 積立金				繰越利益 剰余金
平成21年6月30日残高	522,323	389,632			35,739	35,739	△1,112	946,582
事業年度中の変動額								
新株の発行								
剰余金の配当					△7,073	△7,073		△7,073
利益処分による役員費与								
当期純利益					199,493	199,493		199,493
自己株式の取得								
株式交換による変動額								
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額(純額)								
事業年度中の変動額合計	—	—			192,420	192,420	—	192,420
平成22年6月30日残高	522,323	389,632	—	—	228,159	228,159	△1,112	1,139,002

	評価・換算差額等			純資産 合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
平成21年6月30日残高	1,150		1,150	947,732
事業年度中の変動額				
新株の発行				
剰余金の配当				△7,073
利益処分による役員費与				
当期純利益				199,493
自己株式の取得				
株式交換による変動額				
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額(純額)	△2,094		△2,094	△2,094
事業年度中の変動額合計	△2,094		△2,094	190,326
平成22年6月30日残高	△944	—	△944	1,138,058

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

役員

(平成22年9月28日現在)

Board of directors and auditors

代表取締役社長	武井	厚
常務取締役	竹内	憲正
常務取締役管理本部長	大内	哲朗
取締役営業本部長	木内	昭隆
取締役製造本部長	金澤	隆
常勤監査役	鷹啄	英昭
監査役	山根	節
監査役	古川	史高

(注) 監査役 山根節、古川史高は、社外監査役であります。

会社の概要

(平成22年6月30日現在)

Company information

商創設資本	号業立金	株式会社 武井工業所 昭和14年7月 昭和31年4月 522,323,400円 発行可能株式総数 発行済株式総数	12,000,000株 3,542,000株
事業所等	本社	茨城県石岡市若松一丁目3番26号 明野工場(茨城県筑西市) 小川工場(茨城県小美玉市) 岩瀬工場(茨城県桜川市) 栃木工場(栃木県下野市)	
営業所		東関東営業部広域営業課(本社内) 〃 〃 千葉営業所(千葉県佐倉市) 〃 〃 茨城営業課(本社内) 〃 〃 鹿行営業所(茨城県小美玉市) 西関東営業部広域営業課(栃木県下野市) 〃 〃 栃木営業課()	
従業員数		222名(男 196名、女 26名)	

株主メモ

Note for shareholders

事業年度	7月1日～翌年6月30日
定時株主総会	毎年9月中
配当金受領株主確定日	1. 6月30日 2. 中間配当を実施する場合は 12月31日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
(お問合せ先) (郵便物送付先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告掲載新聞	日本経済新聞
U R L	http://www.takei21.co.jp/
(注)	1. この株主通信は、第55期の営業の概況等をお知らせするものであり、株主総会の招集、配当金のお支払い等ではありません。 2. 株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなります。なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。 3. 特別口座に記録された株式に関するお手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書)等のご請求につきましては下記の三菱UFJ信託銀行の電話並びにインターネットにより24時間受付しております。 電話(通話料無料) 0120-244-479 (24時間受付: お手続き用紙ご請求専用) インターネットアドレス http://www.tr.mufg.jp/daikou/